

2025.10.4.Sat.~10.5.Sun.



「あそびの祭典inのりくら」は、岐阜県全体の子供たちの体験活動の推進・普及のため活動している飛騨・美濃「体験の風をおこそう」運動推進事業の一環として毎年実施しているイベントです。2日間を通して約600名の参加がありました。

10月4日は親子向けのスピノフ企画の宿泊体験に46家族158名が参加しました。スポーツや体を動かすあそび、自然学習のコーナー、飛騨牛革を使った限定クラフト、焚火カフェ等のプログラムを実施しました。

10月5日は雨天のため屋内での開催となりましたが、県内外から集まった計21のブース出展団体の協力のもと、館内は1日を通して多種多様な内容の遊びや体験ブースで賑わいました。間伐材や家具の端材を使用した木工クラフト、本物の海藻や砂を活用したあそび、防災意識を高めるクイズや炊飯体験など、各団体の特色を存分に活かした楽しい体験が参加者に提供されていました。

参加者からは「雨の休日に子どもたちが思いっきり遊べる場所があってよかった」「あいにくの雨だったが室内での活動でも十分楽しかった」「子どもたちにとっては初めての体験ばかりで参加してよかった」などの感想がありました。広い施設内でのびのびと楽しんだ様子が伺え、次年度の同イベントの開催を望む声も多数ありました。

主催：国立乗鞍青少年交流の家 企画・運営：飛騨・美濃「体験の風をおこそう」運動推進事業実行委員会
(一般社団法人かかみがはら暮らし委員会、NPO法人飛騨高山わらべの会、株式会社良品計画無印良品アスモ高山、ガールスカウト岐阜県連盟、岐阜県環境エネルギー生活部県民生活課、岐阜市少年自然の家、飛騨市教育委員会事務局生涯学習課、飛騨・世界生活文化センター)

後援：岐阜県教育委員会、富山県教育委員会、愛知県教育委員会、長野県教育委員会、高山市、高山市教育委員会、飛騨市教育委員会、下呂市教育委員会、白川村教育委員会、社会福祉法人高山市社会福祉協議会



参加者概要

4日宿泊：158名

5日帰り：約440名

ボランティア参加者：30名

@国立乗鞍青少年交流の家

